

ツルガ薬局 漢方症例

《 3歳女の子 血尿と尿蛋白が続く 》

■ 2012年9月6日

「7月に突発性の発熱が出て、病院で検査したら 血尿(2+)、尿蛋白(1+)だった。熱が治ってからも1ヶ月毎に病院へ行き検査しているのだが、血尿と尿蛋白だけがいつまでも治らない。」

お母様が来店されご相談。7月の突発性の発熱以後、ずっと血尿と尿蛋白が出ている。当の本人(子供)はいたって元気。担当医からは、「1ヵ月おきに定期的に検査して様子を見ていきましょう」と言われ、2ヶ月ほど経つが一向に良くなってこない。最初の突発性の発熱時は血尿(2+)、尿蛋白(1+)。後の2ヶ月の数値は血尿(1+)、尿蛋白(1+)。

詳しくお聞きすると、

- ・ とっても元気
- ・ 食欲もあり
- ・ 寝る時は大の字に寝る
- ・ 便通も異常なし
- ・ 汗はかく(頭によくかく)

- ・ ポテトチップスが好きで、のど渴くのか水分はよくとる

【考察】

状態を聞いて、血尿と尿蛋白以外はいたって健康的に感じた。傷寒論の太陽病中篇に「薬を服し終わり微除、その人発煩目瞑劇しき者は必ず衄す、然る所以の者は陽気重なるが故也」とあるところから応用し、風邪の熱が膀胱にからんで自分の陽気と重なったことで血尿と蛋白が出たと考え、膀胱の熱をさまし傷を治していく漢方を1日2回で15日分処方。

【経過・結果】

■ 14日後（9月20日）来店

しっかり飲んでいる。10月の最初に病院で検査してもらうので、今のところ変わった様子は無い。再度同じ漢方15日分処方。

■ 約1ヵ月後（10月5日）来店

10月3日に病院で検査した結果、血尿が(2+)から(-)の異常なしへ、尿蛋白が(1+)から(+)-へ改善した。漢方が効いていると実感。同じ漢方15日分処方。継続中。

漢方の専門相談は、ツルガ薬局の漢方専門相談スタッフまでお気軽にどうぞ♪